

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 構造理解に基づく大規模文献情報からの知識発見
2. 研究代表者： 松本 裕治 （奈良先端科学技術大学院大学情報科学領域 教授）
3. 中間評価結果：

科学技術論文に含まれる技術的情報の抽出と、それを効果的に提示することで研究者支援、発想支援などを行う基盤技術の確立と、実際のツール化のための研究活動が予定通りに進められている。

昨年度までは、前处理的な要素技術の開発に注力されている一方、文献データベースからの知識発見に至る道筋を明確に示す成果が充分ではなかったために、中間評価を期に、軌道修正の必要有りと考えていたが、今回の報告では、この不安を払拭する内容の報告があり、計画に沿って、ボトムアップに要素基盤技術からの積み上げで、順調に研究開発が進んでいることを確認できた。

個々の論文に閉じた知識の活用に関しては、今回の報告内容で目標と手法が明らかになったが、個々の論文には断片的に記述されている知識を、複数の論文に跨って、つなぎ合わせることによって初めて得られるような新知識の発見に関しては、どのように取り組もうとしているのかがまだ明確ではない。この点を、今後、早急に明確にしていきたい。